

第1回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立和泉総合高等学校
校長名	中谷 竜也

開催日時	令和6年 5月 24日(金) 14:00～16:00
開催場所	本校エンパワメントルーム
出席者(委員)	山内会長・上條副会長・加島委員・大野委員・木村委員・坪倉委員
出席者(学校)	中谷校長・谷口事務部長・中原教頭・松下教頭・館首席・徳増首席 中津教務部主任・小谷内生徒支援部主任・中村進路支援部主任 谷口教諭・堀江教諭

議題等(次第順)

1. 開会
参加者の自己紹介(教職員・委員)
2. 校長挨拶
地域との信頼関係を築いていけるよう、学校の現状を共有し、協議いただいた内容を学校運営に活かしてまいります。
3. 学校の状況報告
 - ①学校経営計画について
令和5年度の評価について報告、令和6年度の計画について説明
 - ②スクールミッション・スクールポリシーについて
 - ③首席より
(ア)本校のテクノボランティア・出前授業の活動について
(イ)支援を要する生徒の状況・国際交流の取り組みについて
 - ④進路状況について
 - ⑤生徒状況について
 - ⑥教務について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ①学校経営計画について
 - ・自己指導力向上のため、大人の意識改革が必要。教員が先回りしてすべてを支援するのではなく、生徒に考えさせるようにしないと、子どもの成長の機会を奪うことになりかねない。
 - ・小学校では縦割りや清掃活動などを実施することで、責任をもって取り組むようになった子どももいる。
 - ・自己指導力は自己教育力と同義であり、授業中の発問の工夫などテクニックが必要になる。
 地域活動は、目標を設定して参加する子どもたちをどう増やすか。
- ③首席より
(ア)本校のテクノボランティア・出前授業の活動について
 - ・地域の人の声も掲載した案内をより目立つ場所に掲載したらいいのではないか。
 - ・地域活動と連携して行えば、地域の依頼にこたえることができるのではないか。
 (イ)支援を要する生徒の状況・国際交流の取り組みについて
 - ・生徒のもつ特性に合わせた支援という視点を学校全体でもち、その子のニーズに応じて対応する姿勢が必要。
- ④進路支援・生徒支援・教務について
 - ・どの部署もつながっているので、共有することが大切。
 - ・生徒から見たら「支援」だといえる箇所を増やすことができるかが大切。
 - ・子どもたちが子どもたちを表彰することもあっていいのではないか。

次回の会議日程

日時	令和6年11月15日(金) 14:00～
会場	和泉総合高校 エンパワメントルーム